

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2014-528715(P2014-528715A)

【公表日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-530916(P2014-530916)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 0 7 K	14/37	(2006.01)
C 0 7 K	16/14	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/711	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/569	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/00	1 0 1
C 1 2 Q	1/68	A
C 0 7 K	14/37	
C 0 7 K	16/14	
C 1 2 P	21/08	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/711	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	Q
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	31/10	
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/569	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月14日(2015.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号39または配列番号40と少なくとも85%が同一であるアミノ酸配列を含む、  
単離ケカビ目CotHポリペプチド、その免疫原性断片、またはその機能性断片。

【請求項2】

上記配列番号39または配列番号40と少なくとも85%が同一であるアミノ酸配列からなる、  
請求項1に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項3】

配列番号40のアミノ酸配列からなる、  
請求項2に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項4】

上記機能性断片はGRP78と結合する請求項1に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項5】

上記機能性断片は、内皮細胞によって発現されるGRP78と結合する請求項4に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項6】

上記免疫原性断片は、GAGKKHNNAKQSWNW(配列番号39)またはMGQTNDGAYRDPTDNNNK(配列番号40)のアミノ酸配列から本質的に構成される請求項1に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項7】

上記免疫原性断片は、担体タンパク質と接合している請求項6に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項8】

上記担体タンパク質はキーホールリンペットヘモシアニン(KLH)である  
請求項7に記載のケカビ目CotHポリペプチド。

【請求項9】

請求項1に記載のケカビ目CotHポリペプチドに対する特異反応性を有する、単離抗ケカビ目CotH抗体。

【請求項10】

モノクローナル抗体である請求項9に記載の抗体。

【請求項11】

請求項10に記載のモノクローナル抗体を産生する、細胞株。

【請求項12】

ポリクローナル抗体である請求項9に記載の抗体。

【請求項13】

GAGKKHNNAKQSWNW(配列番号39)またはMGQTNDGAYRDPTDNNNK(配列番号40)のアミノ酸配列から本質的に構成されるポリペプチドに対して特異反応性を有する請求項9に記載の抗体。

【請求項14】

請求項1に記載のケカビ目CotHポリペプチドをコードするmRNAに特異的に結合できるアンチセンス核酸を含み、

上記アンチセンス核酸は、上記ケカビ目CotHポリペプチドの発現を効果的に阻害する、組成物。

【請求項15】

サンプル内のケカビ目有機体の存在を検出するための診断薬を生成するための、  
請求項9に記載の抗体の、使用。

【請求項16】

薬学的に許容可能な担体と、請求項1に記載のケカビ目C o t Hポリペプチド、請求項11に記載のアンチセンス核酸もしくは請求項14に記載の抗ケカビ目C o t H抗体からなる一群から選択される化合物とを含む、医薬組成物。

【請求項17】

ケカビ目真菌症に対する免疫性を対象に与えるワクチンとしての使用のための、請求項1に記載のケカビ目C o t Hポリペプチド。

【請求項18】

請求項1に記載のケカビ目C o t Hポリペプチドと、ケカビ目真菌症に対する免疫性を対象に与えるワクチンとしての使用のためのアジュバントとを含む、組成物。

【請求項19】

ムコール菌症の治療または予防を必要とする対象に対してムコール菌症を治療または予防するための薬剤としての使用のための、請求項16に記載の組成物。

【請求項20】

上記ケカビ目C o t Hポリペプチドに特異的に結合する抗体を生成するための、請求項1に記載のケカビ目C o t Hポリペプチドの、使用。

【請求項21】

配列番号39のアミノ酸配列を含む、請求項1に記載のケカビ目C o t Hポリペプチド。

【請求項22】

上記抗体は、哺乳類細胞による真菌のエンドサイトーシスを抑制する、請求項9に記載の抗体。